

令和7年度 岡山県立勝山高等学校グランドデザイン

《本校のスクールミッション》

幅広い知識と教養を培う普通科高校として、地域や大学等との連携により、一人一人の知性や創造力を高め、自らの視野を広げたり思考を深めたりする教育活動を通して、社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

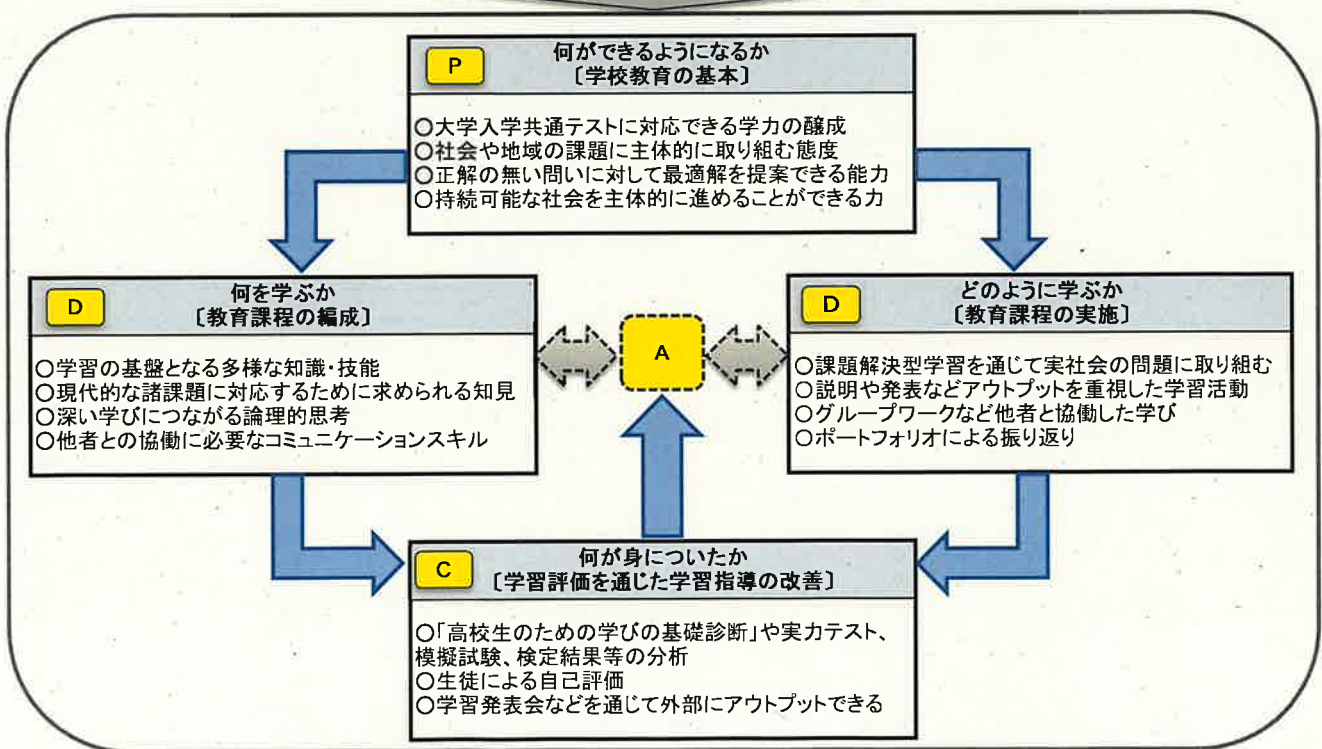
生徒の実態	内外の環境分析
○多くの生徒が学習活動や部活動に真面目に取り組んでいる。社会貢献活動やボランティア活動にも積極的に参加しており、地域からの期待も高い。 ○学力や学習意欲に関して個別に大きな差が見られる。 ○競争する場面が少なく、進路意識やチャレンジ精神をより一層育成する必要がある。	○地域の期待とともに真庭市から様々な支援を受けている。 ○中学生の進路希望の多様化により定員に対して志願者数が厳しい状況にある。 ○真庭市外への流出が加速しており、優秀な生徒や多様な生徒を惹きつける本校の魅力が求められている。

《資質・能力の3つの柱＝生きる力》

学びに向かう力・人間性 等／知識・技能／思考力・判断力・表現力 等

学校教育目標 《育成したい生徒像》	よりよい社会人となるために、知識や技能を身に付け、自ら視野を広げたり思考を深めたりできる生徒
令和7年度重点目標	(1) 生徒の知識・技能や学習習慣の定着に繋がる効果的な指導方法の確立を目指して、教員の授業力・指導力の向上に取り組む。 (2) 地域の進学拠点校としての魅力ある高等学校づくりを図るため、地域・小中学校等との連携・協働による教育の推進に取り組む。

目標実現に向けた取組の方針



取組を支える

取組を支える

実施するために何が必要か 〔指導体制の充実、必要な支援、家庭・地域との連携・協力〕	生徒にどのように支援するか 〔どのような配慮が必要か〕
○保護者・中学生を中心とした、地域への情報発信 ○習熟度別授業の充実と学校設定教科・科目の弾力的運用 ○「向上の一路プラン」「夢現プロジェクト」を通じた非認知能力の伸長 ○資質・能力を伸ばすためのICT活用及び遠隔教育システムの活用	○「夢手帳」の活用による学習習慣の定着 ○個に応じた効果的な学習方法の助言 ○地域社会における課題解決等を通じた進路意識の高揚 ○特別支援の視点を取り入れた効果的な指導